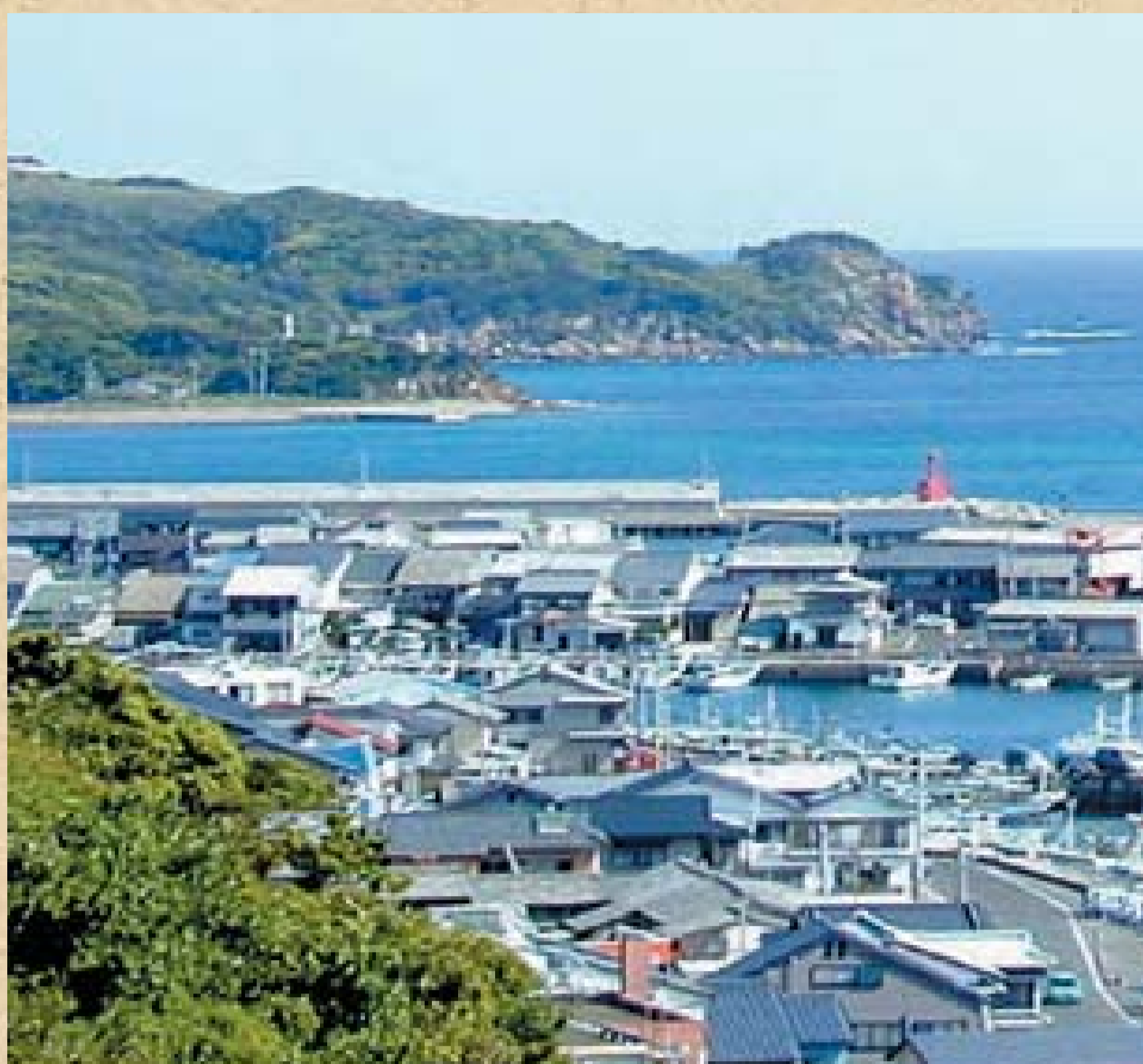


# 長崎県の美しいまちづくり

## 壱岐勝本浦編

### 県

内に数多くある漁業集落の中でも、壱岐市北部にある勝本浦は江戸後期から昭和戦前期につくられた集落です。奥行きのある短冊形の敷地に、家々が軒を接して建ち並んでいます。ほとんどの家が木造2階建てで切妻造平入という形式で造られているので、家は多くても統一感や連続感があります。特徴あるまちなみに加え、数多くの歴史資産が残っているこの地区は、平成18年3月に県の美しいまちづくり重点支援地区に認定されました。



勝本浦

### こ

のまちの家には、昔ながらの「持ち送り」(下屋庇)や窓につける格子や手すり、ばんこと呼ばれる縁台が今でも残っています。同じ持ち送りや格子でも様々なデザインがあり、そしてそれらが各家に揃っているのが勝本浦らしさなのです。

### ま

ちななかでも特に際立つ、2件の建物。そのうちのひとつが藤嶋家住宅です。大正9年以前に築造された木造2階建ての住宅で、県のまちづくり景観資産にも登録されています(景資第2-95号)。現在は大久保本店という名称でカフェとして営業していて、歴史的価値のある建物の中で、おいしい食事がいただけます。もう一件の景観資産、旧松本薬局(景資第2-34号)には、現在人は住んでいませんが、所有者の方の計らいで年に数回お茶会が開かれています。

### 他

にも良い雰囲気のある建物が数多く残っています。原田酒店は、元は造り酒屋。今では販売のみですが、お店に入ると天井を仰ぐと、酒屋特有の高い天井に、立派な梁が今も現役で屋根を支えているのがわかります。また、木造としては珍しい3階建ての旧つたや旅館や、捕鯨業興隆の象徴である大規模な塀「アホウベイ」(景資第2-93号)などもあり、静かに時代を歩んできたものに溢れています。

### 壱

岐には北部の勝本浦の他に、芦辺町の漁業集落や最近注目の一支国博物館、石田町の筒城浜、壱岐市の中心部である郷ノ浦町など、全島に観光ポイントが分散しています。一日かけてのんびり島内を巡ると、島のスローライフが体験できることでしょう。



格子戸とばんこのある商家



旧つたや旅館



手すりや持ち送りのある藤嶋家